

LOUIS-PHILIPPE LONCKE

Explorer, Adventurer and Entrepreneur

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Environment
- Motivation
- Teamwork

Louis-Philippe Lonckeは多目的な探検家そして冒険家です。彼は多様な地形で世界初の探検を終えました。エンジニアおよび経営コンサルタントとして、彼は彼の前で他に誰も試みなかった極度の支持されていない遠征で彼が成功することを可能にした解決策を細心に計画しています。

上場企業での11年間の企業活動の中で、彼はプロジェクト管理、サービス管理およびプロセス改善で認定され、物流、銀行業、食品およびスポーツ小売業、公益事業、運輸および電気通信で働いてきました。

27歳の時、ルイ・フィリップはスキューバダイビングへの情熱が遅れて2004年にオセアニアで1年間旅行するようになるまで探検の世界と冒険家については何の手がかりもありませんでした。どんな援助でも、そしてその後2年後に、彼は自分自身で砂漠の向こう側に画期的な世界初の旅行を始めましょう。彼はタスマニアの荒野を7週間闘った後に地元の人々から表彰を受け、その結果、彼は強く前向きな精神的な考え方を身に付けました。2015年に彼は北から南へのデスパレー国立公園のサポートされていない横断をしました。

2008年に、彼はオーストラリアのニュースに驚いた。その国の最も乾燥したシンプソン砂漠の長さにわたって、完全にサポートされていない歩行をした最初の人物となった。彼は、過酷な環境下でストレス下での科学的プログラム決定のために遠慮なく認知テストを行う3人のソロ屋外実験室ラットのうちの1人です。2009年以来、水の重要性を強調するために、エベレストの谷、アイスランド、オーストラリア、ベルギーで、世界初の探検、慈善団体または環境探検をいくつか行ってきました。

ここ数年で、ルイ・フィリップは彼の世代の最も尊敬される冒険家そして探検家の一人になりました。経営コンサルタントとしての日々の仕事を続けながら短期間で遠征を準備する彼の能力は、ベテランの探検家を驚かせました。冒険と探検に対する彼の情熱は、彼自身の業績を超えています。彼はヨーロッパ中を旅行し、他の探検家と出会い、経験を共有し、強いつながりを築き、そして新しいプロジェクトについて話し合います。

彼の多様性とエンジニアのアプローチが準備と遠征の焦点の考え方に価値を加えるので、彼はいくつかの遠征本と記事に貢献しました。

2011年、彼は1時間のカヤックレッスンを受け、ベルギー近郊で600kmのカヤック探検を始めてから1週間後に、国の美しさと水質汚染を示しました。この遠征の後、彼はNGOのRoots and Shootsの大使に選ばれました。彼はロンドン2012年オリンピックのトーチベアラーとして選ばれました。彼はExplorers Clubのメンバーで、Royal Geographic Societyのフェローです。彼は私たちみんなのNGO Artのボランティア、ディレクター、そしてボードメンバーです。

彼は現在、他の遠征の準備をしており、コンサルタント業とコーチング業を発展させています。

Louis-Philippeは、日常的な課題を解決するための境界の拡大、動機、集中力、

極端な環境でのストレス下での意思決定など、さまざまなトピックについて話します。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988